



アジア選手権(エリート)トラックで唯一金メダルを獲得したスクラッチの角(中央)ゴールまであと1周

シクリスムエコー No.148 2008年4-5月号

平成20年度事業計画 2
 第28回アジア自転車競技選手権大会 4



第15回アジア・ジュニア自転車競技選手権大会 4



第24回全日本BMX選手権大会 9



2008年トラック世界自転車競技選手権大会 10



第33回チャレンジサイクルロードレース大会 12
 第24回全国高等学校選抜自転車競技大会 14
 2008年JCFジュニア強化指定選手選考について 14
 競技大会結果 15
 北京オリンピック・トラック代表候補選手記者会見 15



JCF維持会員のお願い 16
 加盟団体事務局変更のお知らせ 16
 JCF事務局人事異動 16
 連盟の動き 16



この広報誌は、「競輪公益資金」の補助を受けました。

<http://keirin.jp>
<http://ringring-keirin.jp>



平成20年度 事業計画

財団法人 日本自転車競技連盟

我が国における自転車競技界を統括し、代表する団体として、寄付行為に掲げる目的を達成するため、以下の諸事業を実施する。

I. 事業計画概要

〔総務部〕

連盟運営経費の状況を鑑み、本年度も自主財源の確保を最重要課題として、協賛企業の確保、新規獲得を強力に推進すると共に、諸経費の支出についても引き続き見直しを行い、経費削減に努める。

また、本年度はアジア選手権、北京オリンピック開催年に当たることから、底辺拡大の一助ともなるよう連盟広報誌「シクリスムエコー」及びホームページの更なる内容充実に努め、自転車競技の魅力を広く一般に発信していく。

さらに評議員会、理事会及び常務理事会並びに各委員会を通して、適正・円滑な運営を図ると共に、12月に法律が施行される公益法人制度改革に対応すべき移行期間5年間の初年度にあたることを踏まえ適宜検討を行うこととする。

〔業務部〕

大会の充実が競技の魅力を社会に向けて広く紹介できる機会であることを強く認識し、今まで以上に円滑に、選手にとってより良く、同時に見る側にとっても魅力的な大会運営を行っていく。さらに各種大会が併せ持つ諸問題を検討し充実した大会作りを目指す。

また、選手の増加、競技の発展には低年齢層の拡大が課題であり、その対策の検討に取り組む。

なお、昨年度発足した未登録者レース検討委員会については、理事会等での議論を踏まえその実現に向けて検討を進める。

〔選手強化部〕

本年は北京オリンピックが開催されることから、国際大会派遣選手選考委

員会において選考された日本代表候補選手を中心に、メダル獲得に向けより一層の選手強化を図る。

これに併行して、オリンピックへの選手派遣においては、(財)日本オリンピック委員会、北京オリンピック組織委員会並びに国際自転車競技連合との連絡を密にし、その情報収集を図り、万全の体制で臨めるよう努める。

トラックにおいては、北京オリンピック終了後に次回ロンドンオリンピックに向けた強化指定選手の編成のため、チャレンジ・ザ・オリンピックを実施する。

ロードにおいては、U23の強化指定選手を中心に国際大会に派遣し、次代を担う選手強化に努める。

マウンテンバイク、BMXにおいては、強化指定選手を中心に国内合宿を積極的に実施し、国際大会で好成績が収められるよう選手の強化育成に努める。

ジュニアについては、2008ジュニア世界選手権及びジュニア国際大会に積極的に派遣し、入賞できるよう選手強化を図る。

また、同時に次代を担う選手の育成並びに有識指導者の育成に努める。

〔国際事業推進室〕

近年国外への派遣のみならず多様な国外競技活動や、国内での国際大会開催など、ますます国際活動が増加している。

この状況においてわが国の競技力を高めるとともに、その力を発揮する場である競技大会の質を高めるためにも、国際的な情報の収集・共有とともに発信していくことも重要である。

これらのことを踏まえて、国際事業推進室は本連盟諸事業の場において、人材の発掘、養成、登用、資料・文書の2ヶ国語(日本語・英語)化、国内外の情報の収集、優れたシステムの導入、対外(国内外)的な情報の蓄積および公開、競技成績に基づくランキング制度の整備、そしてこれらのための事務局内での情報の共有化および事務局整備を推進する。

そして、これらの円滑な推進のため、関係者・関係団体との良好で緊密な協力関係を涵養すべく活動する。

実施事業については以下のとおりである。

II. 実施事業

1. 国内競技大会関係事業

- ①全日本自転車競技選手権大会
(トラック、ロード、個人TTロード、Jrロード、室内自転車、マウンテンバイク、シクロクロス、BMX)
- ②その他国内大会
(全アマトラック、全アマロード、JOCジュニアオリンピック、全国都道府県対抗)

2. 国内での国際競技大会事業

- ①アジア自転車競技選手権大会
- ②ジャパンカップロードレース大会
- ③日韓対抗学生自転車競技大会
- ④ツール・ド・アジア(仮称)
ジャパンスタージ

3. 国際競技大会関係事業

- ①北京オリンピック選手派遣
- ②世界選手権自転車競技大会(トラック、ロード、マウンテンバイク、BMX、室内自転車、シクロクロス、Jrトラック、Jrロード)選手派遣
- ③ワールドカップ大会選手派遣
- ④国際グランプリケイリン選手派遣
- ⑤6日間レース選手派遣
- ⑥ACCトラックアジアカップ大会選手派遣
- ⑦国際会議への派遣

4. 加盟団体関係事業

(1) 都道府県連盟関連事業

- ①全国地域別道路競走大会
(8地域)
- ②全国地域別トラックレース大会
(8地域)
- ③全国都道府県別自転車競技選手権大会
(47都道府県)

- (2)日本プロフェッショナルサイクリスト協会関連事業
- ①全日本プロフェッショナル自転車競技選手権大会
- ②全国地区別プロフェッショナル自転車競技選手権大会
- ③プロサイクリスト強化事業他
- (3)全国高等学校体育連盟自転車競技専門部関連事業
- ①全国高等学校選抜自転車競技大会(トラック、ロード)
- ②全国高等学校自転車競技合宿
- (4)日本学生自転車競技連盟関連事業
- ①全日本大学対抗選手権自転車競技大会
- ②全日本学生選手権自転車競技大会(トラック、ロード、チームロード)
- (5)全日本実業団自転車競技連盟関連事業
- ①全日本実業団対抗サイクルロードレース大会
- ②全日本実業団自転車競技選手権大会
- ③東西地域別実業団(トラック、ロード)大会

- ④全日本実業団サイクルロードレース in 石川大会
5. アンチドーピングの推進事業
全日本選手権大会等主要大会において、ドーピング検査を実施し、アンチドーピングを積極的に推進する。
6. 強化・普及事業
- (1)選手強化事業
- (2)全国自転車競技指導担当者研修会・審判講習会
- (3)自転車競技の普及・広報事業
- (4)ケイリン種目等指導普及事業
- (5)広報誌発行事業
- (6)チャレンジサイクル・ロードレース大会
7. 調査研究事業
- (1)国内競技大会に関する研究
- (2)国際競技における制度等に関する調査研究
- (3)選手強化等に関する調査研究
- (4)登録システムの整備

8. その他事業
ツール・ド・とうほく(仮称)

Ⅲ. 共催事業の実施

- (1)ツアー・オブ・ジャパン
(自転車月間推進協議会他)
- (2)ツール・ド・おきなわ
(NPO法人ツール・ド・おきなわ協会他)
- (3)ツール・ド・北海道
(財)ツール・ド・北海道協会)
- (4)TOUR de 熊野
(NPO法人SPORTS PRODUCE熊野)
- (5)シマノ鈴鹿国際ロードレース大会
(株)シマノ)
- (6)平成20年度全国高等学校総合体育大会
(財)全国高等学校体育連盟、埼玉県)
- (7)第63回国民体育大会自転車競技会
(文部科学省、(財)日本体育協会、大分県他)
- (8)日本スポーツマスターズ2008自転車競技
(財)日本体育協会、高知県他)
- (9)第4回全国ジュニア自転車競技大会
(四日市市サイクリススポーツフェスティバル実行委員会)

収支予算書総括表

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位：円)

科目	一般会計	日本体育協会 補助事業特別会計	国際競技力 向上事業特別会計	オリンピック・パラリン 事業特別会計	日自振・公益補助 事業特別会計	スポーツ振興基金 事業特別会計	内部取引消去	合計
I 事業活動収支の部								
1. 事業活動収入								
①基本財産運用収入	25,000	0	0	0	0	0	0	25,000
②特定資産運用収入	450,000	0	0	0	0	0	0	450,000
③会費収入	19,000,000	0	0	0	0	0	0	19,000,000
④事業収入	21,100,000	0	0	0	0	0	0	21,100,000
⑤補助金等収入	49,350,000	6,000,000	20,490,000	3,200,000	567,562,000	5,041,000	0	651,643,000
⑥負担金等収入	4,550,000	0	5,247,500	0	0	0	0	9,797,500
⑦寄付金収入	500,000	0	0	0	0	0	0	500,000
⑧雑収入	1,500,000	0	0	0	0	0	0	1,500,000
⑨他会計からの繰入金収入	0	0	5,000,000	0	3,034,000	2,738,525	△10,772,525	0
事業活動収入計	96,475,000	6,000,000	30,737,500	3,200,000	570,596,000	7,779,525	△10,772,525	704,015,500
2. 事業活動支出								
①事業費支出	29,000,000	6,001,000	30,737,500	13,200,000	570,596,000	7,779,525	0	657,314,025
②管理費支出	102,732,000	0	0	0	0	0	0	102,732,000
③他会計への繰入金支出	10,772,525	0	0	0	0	0	△10,772,525	0
事業活動支出計	142,504,525	6,001,000	30,737,500	13,200,000	570,596,000	7,779,525	△10,772,525	760,046,025
事業活動収支差額	△46,029,525	△1,000	0	△10,000,000	0	0	0	△56,030,525
II 投資活動収支の部								
1. 投資活動支出								
①特定資産取得支出	3,000,000	0	0	0	0	0	0	3,000,000
投資活動支出計	3,000,000	0	0	0	0	0	0	3,000,000
投資活動収支差額	3,000,000	0	0	0	0	0	0	3,000,000
III 予備費支出								
1. 予備費支出	1,000,000	0	0	0	0	0	0	1,000,000
当期収支差額	△50,029,525	△1,000	0	△10,000,000	0	0	0	△60,030,525
前期繰越収支差額	152,542,988	5,960,681	3,603,911	30,230,639	0	0	0	192,338,219
次期繰越収支差額	102,513,463	5,959,681	3,603,911	20,230,639	0	0	0	132,307,694

第28回アジア自転車競技選手権大会 第15回アジア・ジュニア自転車競技選手権大会

ジュニアの深谷が3種目で金メダル獲得!



ジュニア男子チームスプリント金メダルの古庄・雨谷・深谷



ジュニア女子スプリント金メダルの近藤



ジュニア男子ケイリン金メダルの深谷(中央)



ジュニア男子スプリント金メダルの深谷



エリート男子スクラッチ金メダルの角



ジュニア女子 500mTT 金メダルの前田



2位
永井

4位
渡邊

エリート男子ケイリン決勝



エリート男子ポイント銀メダルの盛(中央)
と飯島(右)



ジュニア男子ポイント銀メダルの元砂(上)
と大中(中央)



ジュニア男子銀メダルの団体追抜



ジュニア男子銀メダルのマディソン
野口(左)と元砂

アジア選手権のトラックレースは4月10日から13日、奈良県営競輪場で開催された。途中降雨のため、スケジュールが一部変更されたが、全競技が無事に終了した。

昨年に続きジュニア選手の活躍が目立ち、深谷知広はスプリント・ケイリン・チームスプリントの3つの金メダルを獲得した。エリートでは角が唯一スクラッチで金メダルを獲得した。

【競技結果】

第28回アジア自転車競技選手権大会
第15回アジアジュニア自転車競技選手権大会
トラック(2008/04/10-13 奈良・奈良競輪場)

エリート男子1kmタイムトライアル

- | | |
|-------------------|----------|
| 1 TISIN Rizal MAS | 1:04.345 |
| 2 LI Wenhao CHN | 1:04.940 |
| 3 新田 祐大 JPCA 福島 | 1:05.223 |

エリート男子スプリント

- | |
|------------------------------|
| 1 AWANG Mohd Azizulhasni MAS |
| 2 CHO Lae Seon KOR |
| 3 TANG Qi CHN |
| 4 渡邊 一成 JPCA 福島 |
| 5 長塚 智広 JPCA 茨城 |

エリート男子ケイリン

- | |
|------------------------------|
| 1 AWANG Mohd Azizulhasni MAS |
| 2 永井 清史 JPCA 岐阜 |
| 3 CHO Lae Seon KOR |
| 4 渡邊 一成 JPCA 福島 |

エリート男子4km個人追抜競走

- | | |
|-----------------------|----------|
| 1 NATEGHI Hossein IRI | 4:47.971 |
| 2 KOLESSOV Alexey KAZ | 4:51.026 |
| 3 KIM Dong Hun KOR | 追抜勝 |
| 5 倉野隆太郎 JPCA 愛知 | 4:58.462 |

エリート男子スクラッチ(10km)

- | |
|------------------------|
| 1 角 令央奈 兵庫 鹿屋体育大学 |
| 2 MUKHAMEDOV Temur UZB |
| 3 LEE Wei Cheng TPE |

エリート男子ポイントレース(30km)

- | | |
|------------------------|-----|
| 1 CHERNYSHOV Ilya KAZ | 23p |
| 2 盛 一大 愛知 愛三工業 | 22p |
| 3 SHAEKHOV Vadim UZB | 19p |
| 14 飯島 誠 JPCA プリンスストンカー | 12p |

エリート男子チームスプリント(5種)

- | | |
|---------------------|-----|
| 1 WU Po Hung TPE | 10p |
| 2 LYALKO Alexey KAZ | 17p |
| 3 KWOK Ho Ting HKG | 18p |
| 6 角 令央奈 兵庫 鹿屋体育大学 | 26p |

エリート男子マディソン(32km)

- | | |
|-----------|-----|
| 1 ホンコンチャイ | 20p |
| 2 ウズベキスタン | 11p |
| 3 大韓民国 | 10p |
| 7 日本 飯島・盛 | |

エリート男子チームスプリント

- | | |
|---------------|----------|
| 1 中華人民共和国 | 1:01.640 |
| 2 マレーシア | 1:02.033 |
| 3 日本 永井・長塚・新田 | 1:02.852 |

エリート男子団体追抜競走

- | | |
|----------------|----------|
| 1 中華人民共和国 | 4:20.236 |
| 2 インドネシア共和国 | 4:20.848 |
| 3 日本 飯島・盛・角・川西 | 4:27.599 |

エリート男子銅メダルの団体追抜



エリート男子銅メダルのチームスプリント



ジュニア女子IP銅メダルの近内



ジュニア男子1km銅メダルの森



ジュニア女子ポイント銅メダルの柁原

3 JUNG Ha Neul KOR

ジュニア男子ケリソ

- 1 深谷 知広 愛知
- 2 HSIAO Shih Hsin TPE
- 3 雨谷 一樹 栃木

ジュニア男子3km個人追抜競走

- 1 CHO, Hyeong Min KOR 3:36.760
- 2 佐々木 龍 神奈川 横浜高校 3:41.655
- 3 CHEUNG King Lok HKG 3:42.682

ジュニア男子スクラッチ(8km)

- 1 MELIKOV Dmitriy UZB
- 2 ABDULLAH Muhd. Shobry MAS
- 3 野口 正則 奈良 榛生昇陽高校
- 4 森 啓 岐阜

ジュニア男子ポイントレース(16km)

- 1 CHOE Hyeong Min KOR 53p
- 2 元砂 勇雪 奈良 榛生昇陽高校 13p
- 3 KIM Senug Hyeon KOR 9p
- 9 大中 巧基 京都 北桑田高校 1p

ジュニア男子マディソ(24km)

- 1 大韓民国 20p
- 2 日本 野口・元砂 9p
- 3 ホンコンチャイ 7p

ジュニア男子チームスプリント

- 1 日本 深谷・雨谷・古庄 1:04.407
- 2 大韓民国 1:06.053
- 3 チャイニス・タイハイ 1:06.004

ジュニア男子団体追抜競走

- 1 大韓民国 4:31.337
- 2 日本 野口・元砂・佐々木・大中 4:31.712
- 3 インドネシア共和国 4:37.714

ジュニア女子500mタイムトライアル

- 1 前田佳代乃 兵庫 西宮高校 37.487
- 2 HONG Hyeon Ji KOR 37.867
- 3 HSU Pei Chun TPE 39.737

ジュニア女子スプリント

- 1 近藤 美子 愛知 鹿屋体育大学
- 2 HONG Hyeon Ji KOR
- 3 前田佳代乃 兵庫 西宮高校

ジュニア女子ケリソ

- 1 LEE Ae Jung KOR
- 2 HSU Pei Chun TPE
- 3 近藤 美子 愛知 鹿屋体育大学

ジュニア女子2km個人追抜競走

- 1 NA Ah Reum KOR 2:34.249
- 2 YELISSEYEVA Nataliya KAZ 2:39.052
- 3 近内 稚明 福島 岩瀬農業高 2:42.055

ジュニア女子スクラッチ(4km)

- 1 LEE Ae JUNG KOR
- 2 SON Eun Jun KOR
- 3 柁原 彩 熊本 環太平洋大学
- 6 近内 稚明 福島 岩瀬農業高校

ジュニア女子ポイントレース(10km)

- 1 NA Ah Reum KOR 43p
- 2 SON Eun Ju KOR 33p
- 3 柁原 彩 熊本 環太平洋大学 6p
- 4 近内 稚明 福島 岩瀬農業高校 6p

ジュニア女子チームスプリント

- 1 大韓民国 49.058
- 2 日本 近藤・前田 50.558
- 3 チャイニス・タイハイ 52.690

エリート女子500mタイムトライアル(日本不出場)

- 1 GONG Jinjie CHN 35.187
アジア選手権新記録
- 2 MUSTAPA Fatehah MAS 36.155
- 3 Huang Ting Ying TPE 36.473

エリート女子スプリント

- 1 ZHENG Lulu CHN
- 2 GONG Jinjie CHN
- 3 HUANG Ting Ying TPE
- 11 佃 咲江 北海道 北海商科大 12.426

エリート女子ケリソ

- 1 ZHENG Lulu CHN
- 2 MUSTAPA Fatehah MAS
- 3 MANEEPHAN Jutatip THA
- 4 佃 咲江 北海道 北海商科大学

エリート女子3km個人追抜競走(日本不出場)

- 1 LI Wei CHN 3:55.796
- 2 HA Seon Ha KOR 3:56.363
- 3 LEOW Hoay Sim MAS 4:08.469

エリート女子スクラッチ(6km)

- 1 PARK Eun Mi KOR
- 2 TRI KUSUMA Santia INA

3 DIAO Xiao Juan HKG

- 7 石井 寛子 埼玉 スパ・Kアスリートホ
- 11 針谷千紗子 栃木 muur.com

エリート女子ポイントレース(20km)

- 1 KIM Eun Hee KOR 31p
- 2 NONTASIN Chanpeng THA 22p
- 3 LI Wei CHN 17p
- 4 針谷千紗子 栃木 muur.com 5p
- 11 石井 寛子 埼玉 スパ・Kアスリートホ -17p

エリート女子チームスプリント

- 1 中華人民共和国 46.992
- 2 チャイニス・タイハイ 47.655
- 3 大韓民国 47.938
- 7 日本 佃・石井 50.676

ジュニア男子1kmタイムトライアル

- 1 HSIAO Shih Hsin TPE 1:07.289
- 2 JUNG HaNeul KOR 1:07.596
- 3 森 啓 岐阜 1:09.890

ジュニア男子スプリント

- 1 深谷 知広 愛知
- 2 雨谷 一樹 栃木



エリート男子ロードレース金メダルの別府



ゴール後抱き合っ
て喜ぶ別府と宮澤



別府が引くエリート男子のトップ集団



野口が引くジュニア男子のトップ集団

15日から17日のロードレースはツアー・オブ・ジャパンでおなじみの山添村・布目ダムの周回コースで行われた。

15日の個人タイムトライアルでは、エリート女子で萩原が銅メダルを獲得。最終番組のエリート男子では第1組の西谷が第2組終了時までトップタイムを守っていたが、新城を含む第3組の3名がそれを上回り、3位新城、4位西谷となった。

16日からは個人ロードレースとなり、ジュニア男子ではホンコンのCHOIとのゴールスプリントの結果、野口が見事金メダルを獲得。午後のエリート女子では、沖が惜しくも中国のGAOにゴールスプリントで破れ銀メダルを獲得した。

最終日17日は天候が悪化し、周回数を減らしてのレースとなった。最終番組のエリート男子では、選手団のチームワークの結果、別府が金メダル、宮澤が銅メダルを獲得した他、全員が10位以内でのゴールとなった。



ジュニア男子ロードレース金メダルの野口



エリート女子ロードレース銀メダルの沖



エリート男子 TT 銅メダルの新城



エリート女子 TT 銅メダルの萩原

[競技結果]

第28回アジア自転車競技選手権大会
第15回アジアジュニア自転車競技選手権大会
ロードレース(2008/04/15-17 奈良・山添村)

エリート男子個人タイムトライアル (31km)

- 1 WACKER Eugen KGZ 43:03.530
- 2 KOLESSOV Alexey KAZ 43:07.550
- 3 新城 幸也 沖縄 梅丹本舗 43:18.160
- 4 西谷 泰治 愛知 愛三工業 43:35.840

エリート女子個人タイムトライアル (15.4km)

- 1 LI Meifang CHN 22:50.000
- 2 LIU Yongli CHN 24:23.600
- 3 萩原麻由子 群馬 鹿屋体育 24:25.410
- 7 山島 由香 大阪 あさひ 25:36.690

エリート男子個人ロードレース (151.5km)

- 1 別府 史之 JPCA スキルマノ 3:50:41
- 2 MUKHAMEDOV Temur UZE 3:50:41
- 3 宮澤 崇史 長野 梅丹本舗 3:50:54
- 7 西谷 泰治 愛知 愛三工業 3:51:10
- 10 新城 幸也 沖縄 梅丹本舗 3:53:23

エリート女子個人ロードレース (108km)

- 1 GAO Min CHN 3:10:49
- 2 沖 美穂 JPCA 7北 3:10:49
- 3 CHOI Hye Kyeong KOR 3:10:52
- 4 山島 由香 大阪 あさひ 3:10:59
- 6 萩原麻由子 群馬 鹿屋体育大 3:11:25
- 8 豊岡 英子 大阪 3:13:01

ジュニア男子個人タイムトライアル (23.1km)

- 1 CHOE Hyeong Min KOR 31:59.460
- 2 MELIKOV Dmitriy UZB 33:29.130
- 3 OTHMAN Muhammad Adiq Husainie MAS 34:26.450
- 6 元砂 勇雪 奈良 榛生昇陽 35:01.550
- 12 佐々木 龍 神奈川 横浜高校 37:23.070

ジュニア女子個人タイムトライアル (7.7km)

- 1 NA Ah Reum KOR 11:49.960
- 2 SON Eun Jun KOR 12:18.150
- 3 YELISSEYEVA Nataliya KAZ 12:27.610
- 6 柁原 彩 熊本 環太平洋 13:42.130
- 8 近内 稚明 福島 岩瀬農高 14:21.590

ジュニア男子個人ロードレース (123km)

- 1 野口 正則 奈良 榛生昇陽高 3:21:40
- 2 CHOI Ki Ho HKG 3:21:40
- 3 CHOE Hyeong Min KOR 3:21:42
- 8 元砂 勇雪 奈良 榛生昇陽高 3:28:20
- 大中 巧基 京都 北桑田高校 DNF
- 森 啓 岐阜 DNF

ジュニア女子個人ロードレース (38.5km)

- 1 NA Ah Reum KOR 1:11:57
- 2 SON Eun Jun KOR 1:12:03
- 3 LEE Ae Jung KOR 1:12:11
- 12 柁原 彩 熊本 環太平洋大 1:19:37
- 近内 稚明 福島 岩瀬農業高校 DNF



第24回全日本BMX選手権大会



男子エリート・チャンピオンの阪本



男子ジュニア・チャンピオンの古性

【競技結果】

第24回全日本BMX選手権大会
(2008/04/20 茨城・ひたちなか)

男子エリート

- 1 阪本 章史 大阪 関西 un authorized
- 2 黒田 淳 岡山 関東 MX/HARO
- 3 三浦 進 大阪 関西ブリヂストンアンカー
- 4 高山 一成 埼玉 関東 MX Mongoose
- 5 藤澤 雄一 岡山 岡山 RED LINE
- 6 菊池哲太郎 神奈川 関東
- 7 藤原 海渡 神奈川 関東 MBK,OGK
- 8 土井 昭 大阪 関西 DIA-TECH

男子ジュニア

- 1 古性 優作 大阪 関西 VA Authorized
- 2 松下 巽 神奈川 関東 GT
- 3 三瓶 将廣 神奈川 関東 Red Line
- 4 菊池 雄 神奈川 関東 FREE AGENT
- 5 高橋 堅太 岡山 岡山 スポーツクラブ BMX

未永くお付き合いいただくために。



シマノ製品をご愛用いただきまして

ありがとうございます。

シマノではユーザーの皆様へ、当社製品と

未永くお付き合いいただけるよう、

各種補修用パーツをご用意しております。

- 製品についている取扱い説明書をご使用前に必ずお読みください。
- 機能保証のために分解できないパーツもあります。
- お近くの自転車店でご相談下さい。別途送料がかかる場合があります。
- 在庫状況により、品切れの場合もあります。予めご了承下さい。

SHIMANO

www.shimano.com

XBC001-A

2008年トラック世界自転車競技選手権大会

伏見がケイリン5位

ケイリン5位の伏見



本大会は、3月26日から30日までの5日間、イギリス・マンチェスターにて開催された。当初の予定は27日から4日間の開催であったが、観客動員等を考慮し、午前の競技を取りやめ午後の実施とし、その関係から1日追加して開催することとなった。

選手団は今回の世界選に向けて、3月1日から19日までオーストラリア・パースにて強化合宿を行い、万全の体制で臨んだ。

3月19日に一時帰国し成田で1泊した後、20日の12時に成田を出発し、ロンドン経由でマンチェスターに移動した。マンチェスターには午後8時頃到着する予定であったが、飛行機のトラブルによりマンチェスターのホテルに着いたのが日にちをまたいだ深夜1時頃の到着となり、選手団にとっては波乱の幕開けとなった。

現地到着後は、大会直前まで軽めの調整を行い、トラブルはあったものの選手は長旅の疲れが抜け、万全の体制で臨むことができた。

3月26日(大会初日)は午後6時30分よりオープニングセレモニーが行われ、午後8時からチームスプリントが行われた。日本は第1走に北津留翼、第2走に渡辺一成、第3走に永井清史のベストメンバーで臨んだが、45.031のタイムで予選8位に終り、次の3-4位、1-2位決定戦に進出することができなかった。しかし、第3走の永井が

が、最終周4コーナーでアレキサンドル・リソースキー(ベラルーシ共和国)に抜かれ、さらにゴール直前に後続集団に飲み込まれ6着と惜しくもメダルに手が届かなかった。しかし、14周も単独で逃げた積極的な走りに、優勝したリソースキーと同様に盛にも観客からの盛大な賛辞の拍手が浴びせられた。スタッフ一同も前回スペイン大会優勝のワン・カンボ選手に次ぐアジア選手による連覇を期待した。結果6位となったが、賞賛に値する見事なレースであったものと思う。

3月27日(大会2日目)は、スプリントレースが行われ、日本からは前日のチームスプリントメンバーの北津留、渡辺、永井の3名が出場した。200mTTの3番目に永井が出場し、いきなり10秒292の好タイムを記録し観客を沸かせた(15位)。20番目に北津留が10秒340で24位、渡辺が10秒275で10位と全員が次の1/16ファイナルに進んだ。しかしながら、世界の壁は厚く北津留が1番タイムのケビン・シロー(フランス)と対戦し、あっさりともくられ敗退。永井はジェイソン・ケニー(イギリス)と対戦し敗退。渡辺もシェーン・パーキンス(オーストラリア)と対戦し逃げ切られて敗退し、日本代表3人全員が次に進むことができなかった。

3月28日(大会3日目)は、女子スプリントに佃咲江が出場した。6番目に

スタートし、タイムは12秒268と出場選手28名中27位と次の1回戦に進むことができなかった。

また、同日男子ポイントレースが行われ、飯島誠が出場した。前半は後位をキープし脚力温存の体制で推移し、中盤より前々の積極的な位置をキープするが、なかなか仕掛けることができず、2ラップ目の1点と10ラップ目の2点の計3点、15位の結果であった。しかし、UCIポイントランキングにおいては優勝したリソースキー(ベラルーシ共和国)に追い抜かれたものの、北京オリンピック出場枠獲得が濃厚となった。

3月29日(大会4日目)は、男子ケイリンが行われ、伏見俊昭が出場した。1回戦はスタートで前を取ったクリス・ホイの3番手につけて周回を重ね、ペーサー退避後伏見は大外を踏み上げつつ、最終バック手前でホイの後位に入り、そのまま2着でゴールし2回戦に進出した。2回戦では他の選手の早めの仕掛けにも冷静に対応し、3着でゴールし決勝進出を果たした。決勝戦は、再スタートから5番手につけ、残り1周半から3番手に追いつけたものの仕掛けるタイミングをつかめぬまま5着でゴールした。優勝は圧倒的な強さで勝ち上がったホイが押し切って、2連覇を達成した。伏見は5位に終わったが、北京オリンピック出場枠獲得が確定的なものとなった。

また、同日マディソンの決勝が行われ、飯島誠、盛一大のペアが出場した。日本のペアは積極的なレースを展開し、6回目のポイント周回で5点を取り健闘したが、12位で終了した。この結果、UCIポイントランキングにおける北京オリンピック出場枠獲得は難しいものとなった。

3月30日(大会5日目)は、男子オムニウムが行われ、角令央奈が出場した。角は、慣れない種目ながらも健闘し、総合17位(スプリント200mTT15位、スクラッチ18位、個人追い抜き15位、ポイントレース11位、1kmTT14位)の成績で終了した。

また、同日に女子ケイリンが行われ、佃咲江が出場した。1回戦はスタートから最後方の6番手で周回を重ねた。



スクラッチ 6位の盛



8位のチームスプリント

誘導退避後に外を踏んで、一時は5番手としたが6着に終わった。敗者復活戦はスタートで3番手を狙ってアウトに付けたが、位置を取ることができず最後尾に下げ、仕掛けるタイミングを狙っていたが、世界のスピードの前に順位を上げることなく、5着でゴールした。

全日程を終了し、日本は男子チームスプリント、スプリント、ケイリン、ポイントレース、女子スプリント、女子ポイントレースの男女6種目で、北京オリン

ピック出場枠獲得を確実なものとする
ことができた。

(林 富士夫)
Photo: Y. Sunada

【競技結果】

2008年トラック世界自転車競技選手権大会
(2008/03/26-30 ｲｷﾞﾘｽ・ﾏﾝﾁｪｽﾀｰ)

- 男子ｽﾌﾟﾘｯﾄ**
- 1 HOY Chris GBR
 - 2 SIREAU Kévin FRA
 - 3 BOURGAIN Mickaël FRA
 - 15 渡邊 一成 JPCA 福島
 - 18 永井 清史 JPCA 岐阜

24 北津留 翼 JPCA 福岡

男子ケイリン

- 1 HOY Chris GBR
- 2 MULDER Teun NED
- 3 VOLIKAKIS Christos GRE
- 5 伏見 俊昭 JPCA 福島

男子スクラッチ (15km)

- 1 LISOUSKI Aliaksandr BLR
- 2 STROETINGA Wim NED
- 3 KLUGE Roger GER
- 6 盛 一大 愛知 愛三工業レーシングチーム

男子ポイントレース

- 1 KIRYIENKA Vasili BLR 24p
- 2 RIBLON Christophe FRA 23p
- 3 SCHEP Peter NED 19p
- 15 飯島 誠 JPCAﾌﾞﾘｯｼﾞｽﾄﾝ・ｱﾝｶｰ 3p

男子ﾎﾞｲﾝﾄﾞ

- 1 GODFREY Hayden NZL 19p
- 2 HOWARD Leigh AUS 28p
- 3 LISOUSKI Aliaksandr BLR 35p
- 17 角 令央奈 兵庫 鹿屋体育大学 73p

男子ﾃﾞｲﾂ

- 1 ｲｷﾞﾘｽ 19p
- 2 ドイツ 13p
- 3 デンマーク 11p
- 12 日本 飯島・盛 (-2) 5p

男子チームｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 フランス 43.271
- 2 ｲｷﾞﾘｽ 43.777
- 3 ｲﾀﾘｱ 43.718
- 8 日本 北津留・永井・渡邊 45.031

女子ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 PENDLETON Victoria GBR
- 2 KRUPECKAITE Simona LTU
- 3 REED Jennie USA
- 27 佃 咲江 北海道 北海商科大学

女子ケイリン

- 1 REED Jennie USA
- 2 PENDLETON Victoria GBR
- 3 MUCHE Christin GER
- 19 佃 咲江 北海道 北海商科大 1回戦敗退



Dream Skyward.



ご予約・お問い合わせ www.jal.co.jp

国内線 ☎ 0120-25-5971
(営業時間 6:30~22:00/年中無休)
国際線 ☎ 0120-25-5931
(営業時間 8:00~21:00/年中無休)

第33回チャレンジサイクルロードレース大会



さくらの木の前を走る A-U クラス

4月6日、桜が満開の伊豆サイクルスポーツセンター5kmサーキットにおいて、第33回を数えるチャレンジサイクルロードレースが開催された。

A-Eクラスでは品川（愛三工業）と長沼（プリヂストーンアンカー）のゴールスプリントの結果、品川がチャンピオンとなった。

またA-Fクラスでは序盤、西が先行したがメカトラブルで遅れ、井上と齋藤のランデブーとなったが、最後は井上の勝利となった。

その他、A-Mクラスでは善波、A-Uクラスでは中村、A-Jクラスでは山本が勝利をおさめた。



A-Mクラスの先頭集団



A-Jクラス1位の山本





A-Eクラスのゴールスプリント、長沼(左)とチャンピオン品川



クラス A-E の先頭集団



A-Fクラス1位の井上(左)と齋藤

【競技結果】

第33回チャレンジサイクリングロードレース大会
(2008/04/06 静岡・日本CSC)

A-E (60km)

- 1 品川 真寛 京都 愛三工業 1:42:15.99
- 2 長沼 隆行 埼玉 ブリヂストン 1:42:16.30
- 3 鈴木 謙一 愛知 愛三工業 1:42:20.46
- 4 米山 一輝 茨城 スパーク K 1:42:20.92
- 5 津末 浩平 大分 エスプラス 1:42:21.14
- 6 山本 和弘 北海道 キャノンメール 1:42:21.21
- 7 江本 泰輔 東京 ブリヂストン 1:42:21.25
- 8 鎌田 圭介 東京 パールイズミ 1:42:21.27
- 9 西谷 雅史 東京 オースト 1:42:21.43
- 10 二戸 康寛 東京 なるしま 1:42:28.39

A-M (35km)

- 1 善波 昭 東京 デュプロ 1:03:03.86
- 2 戸井 康之 埼玉 1:03:04.00
- 3 小泉 操 埼玉 シカガデン 1:03:04.19
- 4 大橋 克弘 静岡 1:03:04.51
- 5 浜頭 恭 東京 1:03:06.07
- 6 塚野 満 千葉 1:03:47.33
- 7 松井 久 大阪 シブドリキック 1:04:03.81
- 8 須藤 大輔 千葉 1:05:33.85
- 9 大谷 圭市 東京 1:05:34.57
- 10 高橋 秀樹 静岡 1:06:30.38

A-U (40km)

- 1 中村 弦太 広島 京都産大 1:08:41.90
- 2 巖田 義明 埼玉 ブリヂストン 1:08:48.18
- 3 平塚 吉光 静岡 パールイズミ 1:08:48.33
- 4 柴田 一樹 神奈川 朝日大学 1:08:48.46
- 5 辻本 翔太 千葉 順天堂大 1:08:48.49
- 6 十時 正嗣 東京 早稲田大 1:08:48.52
- 7 青柳 憲輝 栃木 法政大学 1:08:48.52
- 8 飯塚 航 群馬 中央大学 1:08:48.57
- 9 榎本 剛士 和歌山 日本大学 1:08:48.85
- 10 伊勢 直人 大阪 1:08:48.91

A-J (40km)

- 1 山本 元喜 奈良 奈良北高 1:10:52.72
- 2 野口 正則 奈良 榛生昇陽 1:10:54.57
- 3 堀内 俊介 神奈川 中央大学 1:10:54.69
- 4 大中 巧基 京都 北桑田高 1:10:54.80
- 5 新井 翔太 埼玉 川越工高 1:10:54.94
- 6 平井 栄一 神奈川 横浜高校 1:10:55.17
- 7 元砂 勇雪 奈良 榛生昇陽 1:10:55.21
- 8 小黒 祐也 新潟 吉田高校 1:10:55.34
- 9 宮腰 諒 福井 春江工高 1:10:55.81
- 10 中尾 佳祐 埼玉 川越工高 1:10:55.92

A-F (20km)

- 1 井上 玲美 東京 40:25.55
- 2 齋藤 磨実 神奈川 40:32.96
- 3 針谷千紗子 栃木 muur-king 41:32.64
- 4 西 加南子 千葉 パールイズミ 41:37.51
- 5 明珍 裕子 岐阜 朝日大学 42:35.36
- 6 智野 真央 東京 muur-king 43:03.22
- 7 木村 亜美 香川 石田高校 43:23.16
- 8 星川恵利奈 香川 笠田高校 43:42.34
- 9 戸井麻里子 埼玉 なるしま 43:46.10
- 10 岡野 尚美 静岡 44:35.35

A-FJ (20km)

- 1 針谷千紗子 栃木 41:32.64
- 2 明珍 裕子 岐阜 朝日大学 42:35.36
- 3 木村 亜美 香川 石田高校 43:23.16

第24回全国高等学校選抜自転車競技大会

榛生昇陽の元砂が2種目制覇で学校対抗でも1位!

【競技結果】

第24回全国高等学校選抜自転車競技大会
(2008/03/20-23 福岡・北九州)

男子1kmタイムトライアル

1	箱田 優樹	青森 青森商高	1:09.314
2	重末 祥治	岡山 岡山工高	1:09.900
3	岡田 啓渡	愛媛 松山聖陵	1:10.170
4	坂本 周輝	青森 八戸工高	1:10.395
5	駒場 智城	福島 東白川農	1:10.510
6	和田真久留	神奈川 横浜桜陽	1:10.772

男子スプリント

1	伊藤 裕貴	三重 朝明高校
2	馬場 和広	埼玉 川越工業高校
3	武藤 龍生	群馬 前橋育英高校
4	竹村 達也	高知 高知工業高校
5	等々力久就	長野 岡谷工業高校
6	窓場千加頼	京都 向陽高校

男子ケイリン

1	末木 浩二	山梨 甲府工業高校
2	岩瀬 拓真	岐阜 岐南工業高校
3	島添 卓也	福岡 祐誠高校
4	今井 一誠	東京 昭和一学園高校
5	飯塚 直人	佐賀 龍谷高校
6	浜地 一徳	京都 北桑田高校

男子3km個人追抜競走

1	佐々木 龍	神奈川 横浜高校	3:38.221
2	大中 巧基	京都 北桑田高	3:40.266
3	吉田 茂生	岐阜 岐南工高	3:41.388
4	西田 大志	福岡 祐誠高校	3:43.591
5	高宮 正嗣	北海道 北海高校	3:44.083
6	猪狩 昌悟	福島 平工業高	3:44.332

男子スクラッチ(8km)

1	黒枝 士揮	大分 日出暘谷高校
2	野口 正則	奈良 榛生昇陽高校
3	谷本 健太	福井 春江工業高校
4	山城 裕輝	香川 高松工芸高校
5	森 一馬	和歌山 和歌北高校
6	関根 寛人	埼玉 小松原高校

男子ポイントレース

1	元砂 勇雪	奈良 榛生昇陽高校	28p
2	笠原 恭輔	茨城 江戸川取手中高	17p
3	谷 龍馬	香川 高松工芸高校	14p
4	豊住 大輔	鹿児島 鹿児島実業高校	11p
5	佐藤 祐輝	福島 学法石川高校	10p
6	梅原 快斗	京都 北桑田高校	8p

男子個人ロードレース(76km)

1	元砂 勇雪	奈良 榛生昇陽高	1:55:04
2	笠原 恭輔	茨城 取手中高校	1:55:04
3	野口 正則	奈良 榛生昇陽高	1:55:04
4	清水 峻	大分 日出暘谷高	1:55:04
5	小巻 和仁	埼玉 川越工業高	1:55:04
6	藤岡 克磨	徳島 徳島工業高	1:55:04
7	中村 政嗣	香川 高松工芸高	1:55:04
8	末永 周平	宮城 東北高校	1:55:05
9	佐々木 龍	神奈川 横浜高校	1:55:05
10	松浦 悠士	広島 市立広島工	1:55:05

学校対抗総合成績

1	榛生昇陽高校	奈良	31p
2	日出暘谷高校	大分	14p
3	江戸川取手中高校	茨城	14p

女子500mタイムトライアル

1	前田佳代乃	兵庫 西宮高校	38.396
2	松本 世良	鳥取 倉吉東高校	38.949
3	古河 麻美	福島 岩瀬農業高	40.521
4	小島 蓉子	千葉 千葉経大附	40.649
5	廣本 茜梨	大分 別府商業高	40.847
6	木村 亜美	香川 石田高校	40.852

女子2km個人追抜競走

1	近内 稚明	福島 岩瀬農高	2:45.406
2	上野みなみ	青森 八戸工高	2:50.564
3	木村 亜美	香川 石田高校	2:49.937
4	湯坐 香子	福島 東白川農	2:52.389
5	川崎亜里沙	山梨 甲府工高	2:51.529
6	武田 和佳	埼玉 川越工高	2:53.859

女子スクラッチ(6km)

1	上原 彩菜	大分 別府商業高校
2	上野みなみ	青森 八戸工業高校

3	近内 稚明	福島 岩瀬農業高校
4	松橋 未来	青森 青森商業高校
5	廣本 茜梨	大分 別府商業高校
6	武田 和佳	埼玉 川越工業高校

女子個人ロードレース(41km)

1	木村 亜美	香川 石田高校	1:16:46
2	大崎 詩穂	青森 八戸工業高	1:16:46
3	廣本 茜梨	大分 別府商業高	1:16:46
4	池部 真知	大分 別府商業高	1:16:46
5	佐藤 千夏	秋田 六郷高校	1:16:46
6	森 沙耶香	大分 別府商業高	1:16:46
7	前田佳代乃	兵庫 西宮高校	1:16:46
8	武田 和佳	埼玉 川越工業高	1:16:47
9	堀川すみれ	群馬 前橋工業高	1:16:47
10	星川恵利奈	香川 笠田高校	1:16:47

2008年JCFジュニア強化指定選手選考会
(2008/3/21-22 福岡・北九州)

200mタイムトライアル

1	深谷 知広	愛知 桜丘高校	10.924
2	森 啓	岐阜 岐阜第一高	11.247
3	雨谷 一樹	栃木 作新学院高	11.325
4	古庄 豊全	熊本 千原台高校	11.328
5	近藤 美子	愛知 愛工大明電	13.460

500mタイムトライアル

1	近藤 美子	愛知 愛工大明電	40.088
---	-------	----------	--------

1kmタイムトライアル

1	深谷 知広	愛知 桜丘高校	1:07.373
2	雨谷 一樹	栃木 作新学院	1:09.094
3	森 啓	岐阜 岐阜一高	1:09.117
4	古庄 豊全	熊本 千原台高	1:09.898
5	高橋 翔太	岐阜 岐南工高	1:11.128
6	畑段 嵐士	京都 北桑田高	1:13.976

2kmタイムトライアル

1	柁原 彩	熊本 千原台高	2:48.947
---	------	---------	----------

3kmタイムトライアル

1	高橋 翔太	岐阜 岐南工高	3:41.079
2	畑段 嵐士	京都 北桑田高	3:57.111

(財)日本自転車競技連盟 強化委員会
ジュニア強化育成部会長 山口 秀雄

2008年JCFジュニア強化指定選手選考について

- 一次選考 3月全国選抜大会と併催のジュニア選考会
- 二次選考 (男女トラック) JOCジュニアオリンピックカップ大会
(男女ロード) 全日本ジュニアロード選手権大会
※上記の大会への参加はJCFジュニアとしての活動の一環とし、選手が出場したレースを成績順位のみならず、総合的に判断して男女15~20名程度を選考する。
- 三次選考 6月中に08年ジュニア世界選手権最終合宿を行い候補者の選考をする。
※併せて海外遠征事業(ロード)の選考も行う。
- その他 事業の日時・場所・内容等の詳細は調整中です。決定次第、関係者に連絡をする。

競技大会 結果

大会名、チーム名等については略して記載

U23ネーションズカップ・ホルトガルグランプリ (2008/3/28-30 ホルトガル)

総合成績

1	RODRIGUES Vitor	POR	10:28:04
2	ROUX Antony	FRA	+0:53
3	TAARAMAE Rein	EST	+1:15
58	吉田 隼人	奈良 榛生昇陽高	+45:13
68	平塚 吉光	静岡 ハールイスミ	+1:16:48

第1ステージ (148.7km)

1	RODRIGUES Vitor	POR	3:59:09
2	GASTAUER Ben	LUX	+1:17
3	ROUX Antony	FRA	+1:25
65	吉田 隼人	奈良 榛生昇陽高	+18:41
72	越海 誠一	大分 日本大学	+21:52
79	窪木 一茂	福島 学法石川高	+24:38
84	内間 康平	沖縄 鹿屋体育大	+38:26
85	伊藤 雅和	鹿児島 鹿屋体育大	+38:26
86	平塚 吉光	静岡 ハールイスミ	+38:26

第2ステージ (111.8km)

1	TAARAMAE Rein	EST	2:42:22
2	ROUX Antony	FRA	+0:10
3	DE NEGRI Pierpaolo	ITA	+1:33
50	吉田 隼人	奈良 榛生昇陽高	+3:20
78	平塚 吉光	静岡 ハールイスミ	+15:10
80	越海 誠一	大分 日本大学	FAD
81	窪木 一茂	福島 学法石川高	FAD
	内間 康平	沖縄 鹿屋体育大学	DNF
	伊藤 雅和	鹿児島 鹿屋体育大学	DNF

第3ステージ (139.2km)

1	TAARAMAE Rein	EST	3:45:02
2	RODRIGUES Vitor	POR	+0:11
3	SOLOMENNikov Andrei	RUS	+0:35
65	平塚 吉光	静岡 ハールイスミ	+24.43
66	吉田 隼人	奈良 榛生昇陽高	+24.43

第42回全日本実業団東日本ロードレース大会 (2008/4/27 群馬・群馬CSC)

BR-1 (108km)

1	廣瀬 敏	石川 愛三工業	2:42:18
2	野寺 秀徳	JPCA スルツノ	2:42:20
3	柿沼 章	JPCA ブリヂストン	2:42:30
4	松村 光浩	和歌山 マトリックス	2:42:31
5	中村 誠	石川 ブリヂストン	2:42:34
6	長沼 隆行	埼玉 ブリヂストン	2:42:35
7	山本 雅道	JPCA ブリヂストン	2:42:54
8	綾部 勇成	JPCA 愛三工業	2:42:54
9	鈴木 真理	JPCA スルツノ	2:42:54
10	盛 一大	愛知 愛三工業	2:42:55

女子 (54km)

1	西 加南子	千葉 ハールイスミ	1:35:10
2	豊岡 英子	大阪 ayakotoyooka	1:36:02
3	真下 正美	神奈川 ブリヂストンE.	1:36:03
4	針谷千紗子	栃木 キンmuur	1:36:03
5	森本 朱美	鳥取 ハールイスミ	1:36:06
6	志村みち子	埼玉 ラブニール	1:36:08
7	井上 玲美	東京 日野自動車	1:36:10
8	智野 真央	東京 キンmuur	1:36:16
9	戸井麻里子	埼玉 なるしま	1:37:27
10	堀 記理子	大阪 シルベスト	1:37:38

第10回全日本学生選手権クワリウム大会 (2008/4/27 滋賀・立命館大学)

男子 (42km)

1	内間 康平	沖縄 鹿屋体育大学	38p
2	伊藤 雅和	鹿児島 鹿屋体育大学	20p
3	木守 望	和歌山 京都産業大学	12p
4	岡 豊洋	和歌山 京都産業大学	10p
5	大久保光次	鹿児島 鹿屋体育大学	6p
6	市山 研	神奈川 明治大学	5p
7	十時 正嗣	東京 早稲田大学	4p
8	辻本 翔太	千葉 順天堂大学	3p
9	堀内 俊介	神奈川 中央大学	3p
10	青柳 憲輝	栃木 法政大学	2p

女子 (14.7km)

1	川又 千裕	鹿児島 鹿屋体育	23:04.15
2	近藤 美子	愛知 鹿屋体育	23:04.48
3	加藤 真緒	鹿児島 鹿屋体育	23:05.37
4	石井 愛	京都 立命館大	23:10.02

第29回オリンピック競技大会 (2008/北京) 自転車競技トラックレース日本代表候補選手 共同記者会見

ゴールデンウィーク明けの5月7日、港区赤坂の日本自転車会館1F イベントホールにおいて、本年夏に開催される北京オリンピック・トラックレース日本代表候補選手8名の記者会見が開催された。

当日は60社、120名のメディア関係者が集まり、代表候補選手の発表、選出理由の説明、質疑応答などがなされた。なお、佞については、都合で不参加となった。

自転車競技トラックレース日本代表候補選手共同記者会見

財団法人 日本自転車競技連盟



<トラック代表候補選手>

伏見 俊昭

1976/02/04生まれ
JPCA / (社)日本競輪選手会 福島支部

長塚 智広

1978/11/28生まれ
JPCA / (社)日本競輪選手会 茨城支部

渡邊 一成

1983/08/12生まれ
JPCA / (社)日本競輪選手会 福島支部

永井 清史

1983/05/18生まれ
JPCA / (社)日本競輪選手会 岐阜支部

北津留 翼

1985/04/26生まれ
JPCA / (社)日本競輪選手会 福岡支部

飯島 誠

1971/02/12生まれ
JPCA / チーム ブリヂストン・アンカー

佞 咲江

1985/10/31生まれ
北海道 / 北海道商科大学

和田見 里美

1987/05/26
鳥取 / 中京大学

- JCF 維持会員のお願い -

本連盟は平成7年5月にプロ、アマ統合によりわが国における自転車競技界を代表する団体として発足して以来、自転車競技の普及・振興に係る諸事業を展開してまいりました。今後も自転車競技のさらなる発展を期し、国内大会の充実や国際大会の開催・派遣等活発な事業展開を図る所存であります。しかしながら、これらの事業活動には多額の経費を必要とするため、連盟事務局は経費節約に努める一方、自主財源の増額を図ることが必要となっております。

本連盟では、自主財源確保の一環として従来から維持会員制度に基づき会員各位のご支援を仰いで参りました。

つきましては、平成20年度におきましても、出費ご多端の折誠に恐縮とは存じますが、何卒かかる実情をご理解いただき、自転車競技の健全な普及・振興のためご支援を賜りますようお願い申し上げます。

維持会費（平成20年度分）※詳しくはお手数ですが、JCF事務局総務部までお問い合わせください。TEL: 03-3582-3713

個人会員：年額10,000円を一口とし、一口以上。 団体会員：年額50,000円を一口とし、一口以上。

<平成19年団体会員>

有限会社ケイデザインカンパニー、有限会社サイクル小野サッポロ、シマダ記章株式会社、株式会社ディプロマット、トップツアー株式会社虎ノ門支店、株式会社なるしまフレンド、株式会社日刊プロスポーツ新聞社、社団法人日本競輪選手会千葉支部、社団法人日本競輪選手会徳島支部、財団法人日本サイクルスポーツセンター、日本写真判定株式会社、日本プロフェッショナルサイクリスト協会、ブリヂストンサイクル株式会社、株式会社マトリックス、三井生命保険株式会社、有限会社メダリストプランニング、株式会社レキップ

<平成19年個人会員>

青木 勇、青山 幸一、穴田 勝彦、安部 徹、安類 隆治、猪狩 晋一、伊熊 牧治、石原 正和、市川 清義、市川 孝雄、岩井正二郎、江崎 乙澄、江崎 鶴彦、江原 敏郎、岡田 行雄、岡本 雄作、奥田 悦司、音田 進、小野 盛秀、桂 正洋、加藤 昭、亀田 博文、川崎 寿男、川手 一則、久家 修、國枝 一成、久保 義春、熊沢 元隆、栗原 朗、小口 謙三、古作 太一、後藤 太、小林 智昭、斉藤 元、斎藤 博、佐久間重光、佐久間信司郎、佐々木正人、佐々木雄一、佐藤 隆、柴野 邦彦、主濱 春蔵、白井 滋、菅野 一、鈴木 明、鈴木 孝幸、妙中 義之、高野 晃、高橋 正雄、近成 保、近嵐 力、中西 泰三、中村 賢二、成田 昇、萩原 重一、樋口 信夫、平野 禎、深谷比幸一、保坂 晴絵、星 進一、松尾嘉之輔、松倉 信裕、松田 隆司、松本 秀憲、宮本 敏夫、村田 統司、村田 隆宣、森 清一、山口 清孝、山口 秀雄、山崎 隆明、山田 義輝、大和 孝義、鷲田 紀夫、渡邊 淳

加盟団体事務局変更のお知らせ

青森県自転車競技連盟

〒030-0913 青森県青森市東造道1-6-1 青森商業高等学校内 三上 様方
Tel: 017-736-6116 Fax: 017-736-5188

島根県自転車競技連盟

〒690-0033 島根県松江市大庭町242-5 吉野勝雄 様方
Tel: 090-2809-6725 Fax: 0852-23-2194

JCF事務局人事異動

平成20年3月31日付

選手強化部

次 長 横田 恭 帰任

平成20年4月1日付

選手強化部

課長補佐 菊地 貴 新任

連盟の動き (3月下旬～5月上旬)

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 3月27日 平成19年度第10回広報部会 | 於：東京・日本自転車会館3号館3階 |
| 4月3日 平成20年度公益事業振興補助事業内定事務説明会 | 於：東京・新霞ヶ関ビル・全社協灘尾ホール |
| 13日 平成20年度第1回強化委員会 | 於：奈良・奈良県営競輪場 |
| 13日 ACC理事会 | 於：奈良・ホテル日航奈良 |
| 14日 ACC総会 | 於：奈良・ホテル日航奈良 |
| 25日 平成20年度第2回強化委員会 | 於：東京・日本自転車会館3号館4階 |
| 5月7日 北京五輪トラックレース日本代表候補共同記者会見 | 於：東京・日本自転車会館3号館イベントホール |

< JCF オフィシャル・スポンサー >



< JCF オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.148 2008年4-5月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩楯昭一

編集人/加藤 昭

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-3 日本自転車会館内

TEL03-3582-3713 FAX03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>